

水道管工事

水道管が破裂したり、故障したときには、迅速な対応で修理を行います。

また、古くなった水道管を入れ替えたり、管の中の掃除もしています。



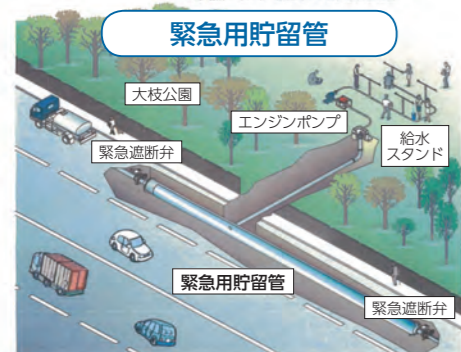
にごり水の連絡があったときは注意してネ。



併せて緊急時に備えて、給水車の導入やポリ容器などのストック(貯蔵)を行い、災害時に飲料水が確保できるようにしています。また、近隣の事業者と水の相互融通を図るための連絡管を設置し、災害時に備えています。

災害に備えて (応急給水)

阪神・淡路大震災および東日本大震災を教訓に、地震に強い水道づくりを目指して、管路の耐震性の向上や浄水場などの基幹施設の整備を図っています。



加圧式給水車

容量1千700ℓのタンクを搭載し、給水口を4カ所備え、1分間に200ℓ以上を吐出可能です。高さ20メートルまで送水できるポンプ装置を装備しており、受水槽への給水もできるようになりました。万が一のときは、この給水車を最大限に活用し、皆さんに水を届けます。

水道フェア

市民の皆さんの生活に欠かすことのできない水道水をよりよく知っていただき、水の大切さを再認識していただくため、水道フェアを開催します。

時 6月5日(日) 10:00
場 市浄水場(八雲北町3丁目)
内 金魚つかみ・スーパーボールすくい・浄水場見学など
問 水道局総務課 TEL 06-6991-6774



市浄水場敷地内には、「八雲樋跡」と刻まれた石碑が建てられています。『守口市水道のあゆみ』によると、「守口市の水道は、旧守口町が大正14年(1925年)4月に配水管を敷設し、大阪市から浄水の供給を受けて給水を開始しました。その後、昭和9年(1934年)に旧三郷村が現在の浄水場の前身である水源の築造に着手し、2年後の同年11月2日に浄水場を完成。同年に守口・三郷上水道組合が設立された」と記述があります。この場所に浄水場が造られた時に、石碑が建てられたと考えられています。

石碑の裏側の内容から、当時、ここの樋から旧八雲・七番・東橋波・西橋波方面へ用水を引いていたことが分かります。



施設見学などで来た時に探してみてくださいネ!

水道局って何してるの?

前ページで、水は浄水場の施設を通り、水道局職員の手によってつくられていることを紹介しましたが、これ以外にも水道局では多くの職員が働いています。



配水管水圧制御監視盤

市内水道管の圧力調節を行っています。

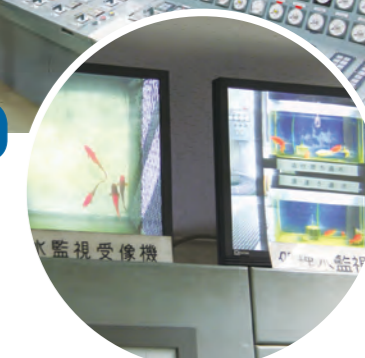


薬品注入設備監視操作盤

薬品注入の調整が遠隔操作できます。

中央制御室

浄水場の管理をしています。大切な水を、わたしたちが寝ている間も送り続けるため、浄水場の監視と機械の見張りを24時間体制で行っています。



原水と処理水で金魚を飼い、異常がないか、動きを監視しています。

水質検査



原水から浄水までの各処理の工程ごとに毎日水質検査を行い、異常がないかの監視や、浄水処理過程で適切な処理が行われているかをチェックしています。また、市内末端の給水栓についても定期的に水質検査を行っています。

日々の検査で水質状態を厳しくチェックしています。皆さんの大切な水のために頑張っています。安心して飲んでいただけますよ。



検針

メーター検針は皆さんが使った水量を正確に記録し、その数字をもとに水道料金を計算します。



市水道料金は、全国平均よりかなり安いんだ。例えば、市販のミネラルウォーター(2ℓ)1本の値段で、水道水約1,200本分に相当する水が使えるんだよ。

